

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年 2月 17日

事業所名 児童発達支援センター こじか園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	23	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法的基準は満たしているが在園児の年齢のバランスによって狭くなることもある。(複数)</li> <li>・人数が多いグループは部屋を分けて使ったり、工夫している。(複数)</li> <li>・コロナ対策を行いながら密にならないようにスペースを工夫している。</li> <li>・コロナの感染予防として、となりと距離を置いて食事をするスペースを作るなどの工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからもコロナ対策を含め工夫しながら部屋の使い方を考えていきます。グループの人数により子ども部屋の使い方も考えていきます。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	23	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準以上の人数は配置している。(複数)</li> <li>・保育補助員を導入して、仕事に応じて能率的に仕事の振り分けができています。</li> <li>・基準の人数は配置されているが、休みの職員がいる場合やパート職員の勤務時間が制限されたこともあり、午後から不足を感じることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の配置基準は満たしていますが、職員ができるだけ働きやすい環境をこれからも考えていきたいと思っています。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰が見てもわかりやすい環境づくりはしている。</li> <li>・子どもたちにとってわかりやすい環境を設置し、一人ひとりマークを付けたり物の位置をわかりやすくしている。(複数)</li> <li>・活動の時と給食を食べる場は同じであるが、テーブルクロスやランチョンマットを使い、時間によって使い方の違いが分かるように工夫している。</li> <li>・必要な時に必要なものを出すなど情報を整理している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達が分かりやすく、毎日生活できるような環境づくりを考えています。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策のため、いつも以上に消毒や換気などを徹底して行っている。(複数)</li> <li>・コロナ対策で活動に制限や配慮しなければいけないこともあるように感じる。</li> <li>・日々片付けを行い、活動している。</li> <li>・広い空間をとっている。</li> <li>・コロナ対策をしっかりしている。</li> <li>・次亜塩素酸水や電解水、オゾン発生器、空気清浄機など様々なコロナ対策をしている。</li> <li>・必要以上の装飾をしだしたり乱雑にならないように整理しながら部屋の環境を整えている。</li> <li>・園庭・中庭で遊ぶ時、玄関から散歩に行くときなど、子ども達が分かりやすいように靴を3足持ってきてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から子ども達が心地よく過ごせるような環境づくりには気を付けています。コロナ等感染対策を考えた上で、清潔を心掛けます。</li> </ul>
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの役割や専門性、勤務時間の契約の違いがあるので、難しいところはあると感じる。</li> <li>・日々の保育や行事で反省を行い、良い保育を作ろうと心掛けている。</li> <li>・すべての職員が意見する機会はあると思う。</li> <li>・勤務時間の短い職員にも反省点・気づきなどをその都度伝え、確認している。</li> <li>・保育現場、発達相談、事務・給食、送迎、各々部署ごとに月1回会議をし、振り返り、職員会議で全員のものとしている。</li> </ul>	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意見をしっかりと把握しながら、いい保育を作っていこうと考えている。</li> <li>・保護者からの質問や意見にはすべて目を通し、把握しながら話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の評価表の意向だけでなく、日頃から保護者との関係を大切に意見を聞き、子ども達にとって対応できることは考えていきます。</li> </ul>
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人のホームページに掲載しています。</li> </ul>	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議委員はいるが、問題があった時に報告し評価をしてもらう体制になっている。外部評価はしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は行っていない。</li> </ul>
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な内容の研修はできている。(複数)</li> <li>・月に1回職員会議の後、研修が行われている。</li> <li>・今年度はコロナ禍のため外部研修はリモートが多かったが、あとは内部研修で行った。内部研修は全職員だけで行うのと、保育部、発達相談部で行ったりした。</li> <li>・外部研修、内部研修共に研修の機会は多く設けられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修は実践を高めるため、他にも必要と考えたことはこれからも計画していきます。</li> </ul>
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向を聞き取り、支援計画作成会議にて複数の職員で話し合いながら作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで作成したものを、主任・グループリーダー・児童発達管理責任者・園長で客観的に子どもを捉えて検討している。</li> </ul>	

適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「適応行動の状況を図るため」ではなくその子どもを丸ごと捉えるため、一つの手段としているほうが強い。</li> <li>・園独自で作成している。(複数)</li> <li>・入園前の子どもの様子など詳しく聞いている。(複数)</li> <li>・標準化されたものではなく園独自のものを使用している。(複数)</li> </ul>	
12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は直接保育にあたっている保育士も会議に入り、意見を言う場面も作っているため、具体的な内容が設定されている。生活、遊び、社会性の項目において保育を實際行う職員が入り、具体的な内容を検討している。</li> </ul>	
13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見直ししながら個々のケースを確認し、支援している。</li> <li>・目標や支援内容がすぐに確認できるようにファイリングし、目を通うしながら周知している。振り返りや反省の中で気づきを伝えあうようにしている。</li> </ul>	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	23	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案や週案もグループごとに確認できている。</li> <li>・子ども達が楽しめそうなことを出し合いながら、何をするか、子どもにとってどうかや当日のデイリーなどは話し合っている。(複数)</li> <li>・グループで立案を立て全体で調整を行っているが、具体的にどうするかなどはグループ以外が見えない部分がある。グループで月案を考えグループリーダーで調整している。</li> </ul>	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	20	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループリーダー会議で各グループの内容を調整したり、意見を出し合っている。(複数)</li> <li>・あらかじめグループ毎に保育内容を決めている。</li> <li>・季節を見て新しいことを取り入れるようにしている。(散歩コースを続けたりなど)</li> <li>・年間の中で日本の文化的な行事を大切にしたり、その子どもに合わせた内容を考えている。</li> <li>・子どもたちが楽しめそうな保育内容を考えたり、季節ごとの遊びを工夫しながら取り入れている。</li> </ul>	
16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々一人ひとりの対応を考えている。</li> <li>・子ども達一人ひとりの発達段階に合わせた活動内容にしている。</li> <li>・個別支援の計画の中で個人と集団の課題を記録し、総括の中で集団がどうであったか確認できている。</li> <li>・個別活動として設定されていないが、集団活動の中で配慮が必要な場合は個別に対応している。</li> <li>・個と集団を大切に作成している。</li> <li>・個別活動としては行っていないが、集団の中で配慮が必要な子どもは個別対応を考えている。</li> </ul>	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認はしているがもう少し詳しくしなければいけないと思うこともある。</li> <li>・毎朝職員間で確認が行われ、全体のものとなる。(複数)</li> <li>・保育内容を共有し、それぞれの役割を把握する。</li> <li>・グループでの日誌の確認と振り返りをしている。</li> <li>・行事や毎日の保育前には流れや動きの確認必ず行うようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせはするようにしていますが、いろいろな立場の職員(出勤時間が違ったり、役割が違ったり)がいますので、今以上に役割分担や支援内容の確認をしていきたいと考えています。</li> </ul>
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有はできるだけ行っているができないこともある。</li> <li>・毎日反省して次につなげている。(複数)</li> <li>・毎日、反省が行われ、全体での反省、グループでの反省があり共有している。(複数)</li> <li>・打ち合わせや振り返りはしているが、直前の打ち合わせになっているものもあるので、事前にこれから意識して行きたい。</li> </ul>	
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	23	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的、分析的な視点で検証することは苦手ではないかと感じる。そのために研修の内容を考えてやっている。</li> <li>・個人の記録は一職員が書くのではなく、職員でどうであったか話してから書いている。</li> <li>・反省で得た気づきを共有、記録し、次につなげていくようにしている。(複数)</li> <li>・個人記録を毎日書いているが保育内容・様子が中心。それ以外の部分も支援計画につながる特記が記載する必要があると感じる。</li> </ul>	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に見直しをしている(複数)</li> </ul>	
22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか				
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児のグループ担当や児童発達管理責任者、主任、園長が入っている。</li> </ul>	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて連携はしている。</li> <li>・役割で園長が連携をとっている。</li> </ul>	
25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	23	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で例年行っている直接担任とのやり取りができなかった。書類のやり取りは例年通り実施した。</li> <li>・申し込み書類を送付したりしている。</li> <li>・申し込みや見学に同行している。</li> <li>・申し込みや子どもの様子を見に来ていただく機会を作っている。対応する必要がある場合は情報の共有等できている。</li> <li>・転園があれば連絡している。</li> <li>・見学の同伴をしたり、申し込みを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行っている直接的なやりとりはできませんでしたが、書類のやり取りは例年通り実施した。</li> </ul>
29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もコロナ禍の影響で例年行っている直接担任とのやり取りができなかった学校もあった。書類のやり取りは例年通り実施した。</li> <li>・5歳児が就学する際、学校側の先生に見に来てもらったり就学後に申し込み書や申し込みで共有できる。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で例年行っている直接的なやりとりはできませんでしたが、書類のやり取り、来年度就学する子どもたちのことは就学先の先生に見に来てもらい、情報共有と相互理解を行った。</li> </ul>
30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	19	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に今年度はコロナの影響で他機関とのやり取りはほぼしてこなかった。(できなかった)(複数)</li> <li>・コロナ禍のため行えていない。</li> <li>・コロナ禍で機会は少なくなりましたが、ある時は参加している。</li> <li>・PTの先生に定期的に助言を受けている。</li> <li>・和歌山県障害児保育運動連絡会などの事業所との研修や話を聞く機会などがある。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山県障害児保育運動連絡会で連携をしたり、コロナウイルス感染予防のために会議や研修がリモートでしました。</li> </ul>
33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点ではその必要性をあまり感じない。もしやるにしても今コロナ禍でやめた方がいいと思う。(複数)</li> <li>・特に交流した活動はなかった。</li> <li>・コロナ禍により機会がなかった。(複数)</li> <li>・コロナがなければ機会は作ってきたが、今は芋ほりなどだけで場面的な関わりである。</li> </ul>	
34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	19	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長や発達相談員が参加している。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市自立支援協議会の子ども部会には事務局員として園長と発達相談員が参加しています。県の子ども部会は園長が出ています。</li> </ul>
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の連絡ノートで、家の様子や園の様子は確認はできている。</li> <li>・連絡ノートや、コロナ禍で数は減っているが親子保育などで顔を合わせる時、電話などで伝えている。</li> <li>・毎日の連絡ノートでやり取りしたり、必要に応じて電話連絡をしている。発達相談や個人懇談で相談の機会は設けている。</li> </ul>	
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な～プログラム～療法ではないが、親子保育や保護者学習会などを通して行っている。(複数)</li> <li>・ただし、コロナ禍のため例年よりも回数は減っている。(複数)</li> <li>・保護者会活動の中での交流会なども保護者支援となっている。</li> <li>・毎日のノート、電話連絡、送迎時の対応などを通して保護者との関係とつくるようにしている。</li> </ul>	
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が年度内で変更があってもきちんとしている。(複数)</li> <li>・入園時の説明といつでも閲覧できるように玄関に置いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初め4月に保護者総会で伝えるようにしています。玄関にもファイルを置いてありますので、いつでも閲覧してください。</li> </ul>
38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2～3回支援計画の開示、説明を行い、保護者に計画の説明をしている。(複数)</li> <li>・発達相談や個人懇談で悩みを聞いたり、必要に応じた助言はしている。</li> </ul>	

保護者への説明責任等	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートで保護者が書いている文章を見て悩みはないか常に確認している。</li> <li>・家庭訪問、個人懇談以外でもいつでも相談にのっている。</li> <li>・連絡ノートでやり取りしたり、必要に応じて電話で連絡している。発達相談、個人懇談で相談に応じる機会は作っている。</li> </ul>	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍なので以前のようにできていないが、保護者会活動は園長が会議に入ったりし、支援している。</li> </ul>	
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度時間・場所を設けている。</li> <li>・できるだけ迅速に相談に応じるようにしている。</li> </ul>	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりを定期的に発行している。(複数)</li> <li>・年間計画の発行や毎月の園だより、随時必要な手紙など保護者に配布している。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に持ち出し禁止となっている。(複数)</li> <li>・職員会議で事あるごとに守秘義務、個人情報の確認はしている。</li> </ul>	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員として常に配慮を心掛けている。</li> <li>・個別に対応している。</li> <li>・毎日のノートで保護者との連絡を取り合っている。</li> <li>・子どもに対してできないでなく、その子の素敵なところを伝えるように心がけている。</li> <li>・必要な保護者に電話を入れている。</li> <li>・電話で丁寧に伝える。確認するなどしている。</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でできていない。(複数)</li> <li>・今年はお芋ほりだけしかできていない。</li> <li>・コロナ禍のため招待する行事などをしないので地域との交流はない。</li> <li>・もちつき、芋ほりや園で収穫した野菜など地域に届けることはある。</li> </ul>	
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練を行っている。</li> <li>・毎月避難訓練を行っている(複数)</li> </ul>	
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練を行っている。</li> <li>・実際に子どもたちと最終的の非難場所である山口小学校まで行く訓練も行っている。</li> <li>・毎月いろいろな時間で行っているが、散歩に行っている場合の訓練ができていないので、企画に入れていく必要がある。</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年4月に調査表を書いてもらったり、発作が分かった時に詳しく保護者に聞いている。(複数)</li> <li>・全職員で把握している。</li> <li>・毎月いろいろな時間で行っているが、散歩に行っている場合の訓練ができていないので、企画に入れていく必要がある。</li> <li>・年度始めに書類を提出してもらっている。発作時の薬を預かり保管している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に保護者から聞いている子どももいるが、園生活の中で気になった子どもは保護者に伝え、受診してもらうようにしています。これからも園で気づいたことは保護者に伝え、子どもの状況をしっかり確認していきます。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食ではアレルギーの子どもに対する除去食や特別食を作り、間違わないように記名を必ずしている。</li> <li>・アレルギーに対して医師の診断書や生活表を書いてもらっている。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの子どもには医師の診断書を出して頂き、園として気を付けることは職員で情報共有するようにしています。経過を見ていくのも保護者と連絡を取り合っ対応していきたいと考えています。</li> </ul>
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	24	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例集は作成していないが、全職員参加の職員会議で確認したり、必要なことは随時職朝などで全職員で共有している。</li> <li>・ヒヤリハットが次に改善されるようにすぐに職員間で話し合いがされている。(複数)</li> <li>・ファイルは作っている。また月1回の職員会議でその月にあったことは確認している。</li> </ul>	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	22	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの対応については相互に意見を出し合い考えるようにしている。</li> <li>・虐待防止の研修会を実施している。(複数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年虐待の研修を行うようにしています。研修だけでなく日頃から相互批判ができるようになっていきたいです。</li> </ul>
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	20	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の身体拘束はしていないが、送迎バスでチャイルドシートを嫌がったり外そうとする場合は、安全確保のため保護者の了解を得た上で少し固定を強くしている。(複数)</li> <li>・支援計画への記載を来年度検討している。(複数)</li> </ul>	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。